

阿寒湖四季の動画【夏編】上演会

ルーツが僕に自由をくれた

アイヌを知らないアイヌと、アイヌに魅せられたアイヌが、

阿寒湖の壮大な自然の中で、アイヌの誇りに目覚めていく。

もっと知りたい。もっと伝えたい。

二人の想いがひとつになったとき、生き生きと伝承されていくアイヌの心。

ルーツと向き合うことは、未来を切り拓くことだった。

第1部 阿寒湖四季の動画【夏編】「ルーツが僕に自由をくれた」上映

14:00～

出演者トークショー

出演：瀧口 健吾 / 大和田 秋之助

第2部 川上ミネ Petit Recital ～カムイの森の散歩道～

15:00～

阿寒湖四季の動画【夏編】使用楽曲を中心として

観覧無料
自由席

入場制限
あり

YouTube
「阿寒湖アイヌコタン」
はこちら



2021.10.16 (土) 開場 13:30
開演 14:00

会場

釧路市生涯学習センター「まなぼと幣舞」2階 大ホール
〒085-0836 釧路市幣舞町4番28号
0154-41-8181

感染予防対策にご協力ください。感染予防対策マニュアルによりご入場をお断りする場合がございます。

阿寒湖四季の動画【夏編】「ルーツが僕に自由をくれた」上演会

プログラム

13:30 開場

14:00 第1部

阿寒湖四季の動画「ルーツが僕に自由をくれた」上映

出演者トークショー

出演：瀧口 健吾 / 大和田 秋之助

15:00 第2部

「川上ミネ Petit Recital ～カムイの森の散歩道～」

阿寒湖四季の動画【夏編】

「ルーツが僕に自由をくれた」使用楽曲を中心として

ディレクター

田向 奈央子

(株) 東京ビデオセンター。地域に根差した番組制作を得意とし NHK ワールドなど海外向けコンテンツの制作実績も豊富。NHK「カムイの森にごはん降る降る」、NHK「やまと尼寺精進日記」、NHKWORLD「Medical Frontiers Search for Superfoods」などを制作している。

ディレクターコメント

夏の緑のようにのびのびとアイヌ文化を受け継ぐ健吾さんと秋之助くん。2人が教えてくれた森の美しさ、カムイの恵みがつまったごはん、自身のルーツをカッコいいと誇れる気持ち。その全てが阿寒湖の魅力です。

出演



瀧口 健吾

1982年、阿寒湖温泉に彫刻家・瀧口政満氏の長男として生まれ中学校まで阿寒湖アイヌコタンにて育つ。オーストラリア・アデレードの高校へ進学。オーストラリアの地でバードカービングに出会ったのが始まりで木彫りに興味を持つ。

帰国後は実家に戻り一度は父の工房兼土産店「イチングの店」で働くが、その後浜中町、別海町で酪農業に就く。2018年父の死を機に阿寒湖温泉に腰を据えようと店を継ぎ、現在店を営む傍ら木工作家として活動している。



大和田 秋之助

2001年、釧路市内にてアイヌ民族の血を引く母のもとに生まれる。アイヌ民族の血を引く事は知りつつも伝承とは縁がなく育ち20歳を迎えた年、アイヌ文化を学んでみたいと感じ阿寒アイヌコンサルに就職をする。

阿寒湖アイヌコタンに店を構える祖父母の元で暮らしながら働く中で、瀧口健吾との出会いによりカムイノミに強い興味を持ちアイヌ語を始め儀式について学んでいる。

作曲・演奏



川上 ミネ

ピアニスト・作曲家。愛知県長久手市に生まれ、3歳でピアノを始める。ミュンヘン国立音楽大学～マドリッド国立音楽大学院ピアノ科卒業。世界各地を旅してミュンヘン～マドリッド～ハバナ、現在は京都とスペインに暮らし、旅に出て、音をスケッチする。クラシック音楽から出発した無国籍・無ジャンル音楽を奏でる。コルドバのメスキータ、サンチャゴ大聖堂、エル・エスコリアル修道院など多くの世界遺産で演奏、国内では清水寺、春日大社でもコンサートを行った。2003年以降、チューチョ・バルデス、ネストル・マルコーニなどと共演。2005年 愛・地球博「モリゾーとキッコロ」のテーマソング、NHKテレビ「猫のしっぽ、カエルの手」、「やまとの季節七十二候」、「やまと尼寺精進日記」、「北斎“宇宙”を描く」、NHKラジオ「ラジオ深夜便」、映画「ベニシアさんの四季の庭」、スカイマークの機内テーマ曲など数多くのサウンドトラック、音楽制作を担当。2020年 川上ミネのドキュメンタリー番組「音のかたち」がNHK総合、BS1、NHK国際放送（英語／スペイン語／ベトナム語／中国語）にて放送された。

ディスコグラフィー：

In Latin America（2004年）以降、「In The Forest」（2006年）、「馨（かおり）」（2010年）、「Nostalgia ～ Kiyomizu」（2017年）、「やまと尼寺精進日記サウンドトラック」、「スカイブルー」、「クリスマスオブマイン」（2019年）、「猫のしっぽ、カエルの手」（2020年）など十数枚のアルバムを発表している。